

(議案第 1 号) 令和元年度 実績報告 (案)

1. 総会

(1) 第 1 回 通常総会 (令和元年 7 月 4 日 開催)

- ・ 議案第 1 号「平成 30 年度 実績報告 (案)」… 承認
- ・ 議案第 2 号「令和元年度 事業計画 (案)」… 承認
- ・ 議案第 3 号「規約の一部改正について (案)」… 承認

(2) 第 2 回 通常総会 (令和元年 11 月 7 日 開催)

- ・ 議事(1)報告「作業部会 活動報告等について」
- ・ 議事(2)協議「事務局体制・資金調達方法・資源管理システムについて」

2. 理事会

(1) 第 1 回 理事会 (令和元年 5 月 16 日 開催)

- ・ 議題(1)「平成 30 年度 実績報告 (案)」… 承認
- ・ 議題(2)「令和元年度 事業計画 (案)」… 承認
- ・ 議題(3)「規約の一部改正について (案)」… 承認

(2) 第 2 回 理事会 (令和元年 10 月 3 日 開催)

- ・ 議題(1)「作業部会 活動報告等について」… 承認
- ・ 議題(2)「事務局体制・資金調達方法・資源管理システムについて」… 承認
- ・ 議題(3)「第 2 回 通常総会の開催について」… 承認

(3) 第 3 回 理事会 (令和 2 年 2 月 17 日 開催)

- ・ 議題(1)「作業部会 活動報告等について」… 承認

3. 作業部会

(1) 病院部会

- ① 病院体制の変更に伴い病床機能数 (2025 年の目標値) を修正。
- ② 各病院へアンケートを行い、「病床機能対策計画」および「院外連携・人材育成に関する現状と方針」をまとめる。

(2) 介護サービス部会

- ① 「各施設の機能 (対応範囲) の把握と整理」として、プロジェクトチームを編成し、訪問系・通所系・入所系に分けて資源管理項目での対応範囲一覧表を作成中。

- ② 「共有すべき情報の把握と標準化」として、通所連絡会を定期的に行い、標準化に関するアンケート結果をもとに検討。感染症対応について素案を作成する予定。次年度に交流研修を計画。訪問介護連絡会の立ち上げについてアンケート実施し、意見交換を行う。
- ③ 「施設で利用する様式の標準化」として、短期入所申請様式の統一し9月から運用開始。老健申請の統一様式作成中。小多機の申請様式を統一し令和2年4月から運用。
- ④ 「機能の分担・改善に向けた対策」として、身元引受人に関する問題を検討。「ゆいノート」の活用、先進地事例等の取り組みを参考に佐渡版の指針（ガイドライン）素案の骨格作成。これを基に原案について作成中。
- ⑤ 「流動的に利用者を移動する体制の検討」として、特養施設の申込申請様式統一し4月から運用開始。メールでの申し込み実績あり。令和2年1月より家族が施設へ申込書を持参した場合、他施設分をメールで一括送信する受付を開始。PJ チーム編成し、サービス利用に関する手順概要案の作成。（施設系、居宅系）
- ⑥ 「情報共有基盤として「さどひまわりネット」の活用」として、さどひまわりネットユーザー会と連携を取りながら多職種間でコミュニケーションボードの活用を試行中。在宅高齢者のサービス利用状況の見える化を目的とした統合スケジュール機能の活用について検討。
- ⑦ 「佐渡市内介護保険施設等利用申込書統一様式集」を作成。今後は各事業所のメールアドレスやFAX 番号等を添付し完成させていく。

(3) 障がい福祉サービス部会

（※佐渡市地域自立支援協議会の全体会および7つの作業部会で協議。以下は提供体制協議会と関係する主な部会について記載。）

- ① 「精神障がい部会」で、制度に当てはまらない人の居場所づくりの具体化。
- ② 「知的・身体障がい部会」で、強度行動障害プロジェクトチームで、強度行動障がい・触法障がい者など、特別な支援をする人たちへの支援について検討。また福祉に携わる職員の資質向上の研修についてなど検討。
- ③ 「相談支援部会」で、基幹相談支援センターを中心とした全体的な相談支援体制や連携、円滑なサービスへの進行、人材育成などについて検討。
- ④ 佐渡市地域生活支援拠点等の整備、緊急時の受入れ・対応について、関係者間で協議。

(4) 在宅医療部会

- ① 令和元年度も在宅WGと入退院WGの2つのワーキンググループで具体的検討課題に取り組む。2つのWGの進捗状況を部会で情報共有し課題解決について意見交換を行う。

- ② 医療用麻薬使用者の施設受け入れについて、課題毎に意見交換を実施。施設内での情報共有と「医療用麻薬適正使用ガイダンス」の確認のお願い文書を各施設に発出した。医療用の麻薬使用者を施設で受け入れてもらうことを目的に、アンケート調査の実施及び結果を報告。医療用麻薬の使用に関するお願いの文書を在宅医療部会から介護施設へ出した。医療用麻薬に関する相談窓口の介護施設等への広報について、佐渡病院発信から協議会発信に変更した。
- ③ 佐渡市版エンディングノート「ゆいノート」の作成。WGに終活アドバイザーを招いて進め方を話し合い、試験運用等により内容を修正しながら完成させる。佐渡市にて印刷し1月20日から配布開始。市報や佐渡テレビでも広報を行う。原則本人手渡しとして、「支援者用ガイド」を使いながら一緒に書いていくか、あるいは出前講座で説明をしてそれを聞いて自分で書いてもらう。
また、介護サービス事業所等に配布希望調査を行ない希望する事業所等へ配布。自分で書く意志のある人には渡して行って、ケアマネ等介護の現場で必要と思われる人には説明していく。「ゆいノート」を普及させるのにキーになるケアマネ・訪問看護師が忙しい状況の中でどこまでやるかというのを考えないといけない。
- ④ 入退院調整の仕組みについて、大きく2点（1. 病院・在宅間＝狭義の入退院支援、2. 施設・病院間や在宅・施設間＝広義の入退院支援）に分けて協議。狭義の入退院調整の提言について内容を掘り下げて協議し、島内各病院の入退院調整担当者やケアマネジャー、また介護保険等施設の方より入退院調整の提言について意見を伺う。こうした意見を元に佐渡において理想の入退院調整を実現するための提言書（狭義の入退院調整について）をまとめ、「入退院調整加算の算定のために」と「入退院調整の手引き」という資料を添付し提言を補足する。

(5) 医療・介護・福祉連携部会（資源管理部会）

- ① 資源管理システムのデモ画面、作業フローを作成。マッチング機能を追加することとし、それに伴い運用のスケジュールを変更。令和3年度の本運用を目標とする。
- ② 協議会の事務局体制について検討。既存の「さどひまわりネット」の法人との統合を前提として、法人化を図る。そこで住民情報の共有を目的とする「さどひまわりネットシステム」と施設機能の共有を目的とする「資源管理システム」の2つのシステムを管理・運営する事務局体制を提案。
- ③ 資金調達方法について検討。参加施設（法人）からの出資や公共補助、クラウドファンディング、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）、企業連携等の方法を提案。また、用途を限定したふるさと納税なども今後検討していく。
- ④ 協議会全体の取り組み及び各作業部会の進捗を管理し、「作業スケジュール管理表」により進捗状況の確認および他部会との連携について協議。

(6) 学習・研修部会

- ① 各職種を集めた全体会を6月に開催し、今年度の活動方針を共有。その後、グループごとにそれぞれ職種のプログラムについて検討。
- ② 11の職種別グループにより初期研修プログラムについて検討。職種により0～7回の開催と進行状況にばらつきあり。原案が完成し試行中が3職種、また基本的なプログラムの案がほぼ完成し、これから試行を取り組む職種が約7職種。その一方で検討メンバーが集まらず、検討が進められていない職種もある。
- ③ 9月と1月に職種の代表者を集めた情報交換会を実施。プログラムの進捗状況や課題を共有する。
- ④ 8月に学習研修部会通信を作成し構成団体へ送付。
- ⑤ 交流研修について、協議会主催の研修企画は困難なため、それぞれの施設等で行われている研修を公開し、互いに乗り合わせていける体制を検討。どのように全体へ周知していくかが今後の課題。

(7) 広報部会

- ① 病院祭等のイベント等で、クリアファイルに協議会のチラシや各部会の紹介チラシ等をはさみ、住民や関係機関に配布。
- ② 佐渡市ホームページに通常総会の議事録等を掲載。
- ③ 出前講座を3回実施。いずれも佐渡総合病院 佐藤病院長よりご講演いただく。
- ④ 連続講座を2回実施。第1回は協議会員より29名、第2回は協議会員25名、住民20名が参加。いずれもワークショップ形式で行い、好評であった。
- ⑤ 新たにクリアファイルを作成し、チラシ等の配布に活用。

4. 体制構築に向けた取り組み

(1) 資源管理

- ① 資源管理システムのデモ画面、作業フローの作成。導入時期等についてリスクスケジュールを行い、より具体的な検討を行った。
- ② システム運用に伴う事務局体制についての検討。法人化を前提として協議を行い、次年度に法人を立ち上げる事として協議を進めた。
- ③ 持続的な協議会体制の構築に向けて資金調達方法を検討。様々な方向から資金調達の方法を模索し、その実現に向けて具体的に関係団体等と協議を進めていくこととした。

(2) 人材養成

- ① 職種別の初期研修プログラムの完成と試行。(職種により進捗に差はあり)

- ② 後期研修プログラム策定への着手。
- ③ 交流研修等の実施に向けた体制の構築について検討。

(3) 広報

- ① イベント等において協議会チラシ等の配布による広報活動の実施。
- ② 佐渡市ホームページにて通常総会の議事録等を掲載。
- ③ 出前講座や連続講座を実施し、協議会員や住民へ活動を周知。